

北海道演習林山火跡地に於ける林分の
構成状態並に其の遷移に就いて（第1報）

助 教 授 中 山 正 章

助 手 功 力 六 郎

目 次

I 緒 言	3
II 試験地の地況	3
III 試験地の林況	3
IV 試験地の設定	4
V 植 相 調 査	5
(1) 林分の構成状態調査	5
(2) クオドラート調査	5
a) 罷災直後の植相の遷移	6
b) 罷災 25 年後に於ける植相の遷移	6
c) 樹 冠 の 關 係	7
(3) 土壌成分の測定	7
(4) 光 度 の 測 定	8
VI 摘 要	9
VII 附 表	10
VIII 圖 版	

北海道演習林山火跡地に於ける林分の構成状態並に其の遷移に就いて（第1報）

I. 緒 言

山火は森林に対する人爲被害中最も恐る可きものにして、一度罹災せば其程度に依り差異はあるども、甚しきは從來の植物を現實に全滅せしめ、植相の根源たる種子迄も滅却せしむるに至る。本演習林に於ては山火により森林が被害せる場合、如何なる推移階程を経過し、如何にして安定林型に進むべきか、其の遷移の状態を研究する目的を以て、昭和5年7月より試験地を設定、爾後植相調査を續け、各種精細調査を實行しつつあり、爰に林分の更新状態變移の傾向の一端を發表せんとす。尙本調査に當りて、植相調査其の他に從事せられし職員和田基巳君の勞を謝す。

II. 試験地の地況

本演習林の西南端第19林班オンコ澤流域中、明治44年5月罹災せる箇所にして、焼失面積約3,600haなり。オンコ澤は南北に長く南に走り空知川に合す、地形は急峻にして大體西東の二斜面に分たる。依つて西向斜面と東向斜面に各1ヶ所の標準地をとり、面積各々0.25ha(50m平方)とし内部にクオドラート區を設定し、西向試験地、東向試験地となしたり。尙西向試験地より約1000mを距てたる第17林班g小班罹災地に試験地を設定せり。本試験地は昭和5年8月罹災せるものにして、同年10月クオドラート調査を施行せり。基岩は第三紀石英粗面岩にして土地淺く、土壤は砂質壤土にして結合度低く、附近に崩潰せる箇所あり。東向にありては腐植質の厚さ約4cm砂質壤土約50cm、西向にありては腐植質約7cm砂質壤土約50cm、西達布入口にありては腐植質約2cm砂質壤土約60cmあり、露出岩石の風化甚し。

III. 試験地の林況

本焼跡地は明治44年5月11日演習林外下金山方面より、空知川を飛火して、延焼せるものにして、同月21日夜の降雨により、鎮火せるものなり。焼失前はエゾマ

ツ・トドマツ・ミヅナラを主とする群叢の美林なりしに、火勢強く、林木は殆ど焼滅し、第二次林として構成せる林分はウダイカンバ・バツコヤナギ等の陽樹を優勢木としてアサダ・ハリギリ・シナノキ・イヌエンジユ・ホノキ等混生せる幼齡闊葉樹林なり。ウダイカンバの直徑範囲は1.5~13.5cm, バツコヤナギは1.0~15.0cm, アサダ・ハリギリ・シナノキ等は1~7cmなり。地表植物としてクマイザサ・フツキサウ・マヒヅルサウ・ヒメノガリヤス・フキ・スゲ類等多く、ヒメノガリヤス・ヤナギサウ等焼跡地特有の景観を表はすも、亦ウスバサイシン・ウメガササウ等耐陰性草本も混生して漸次地表鬱閉の特徴を示す。亦罹災後萌芽せるものにシナノキ・オホバボダイジユ・イタヤカヘデ・イヌエンジユ等あり、現林相は所謂第二次的に遷移すべき階程と推察し得べきものなり。西向・東向兩試験地の植相は大體類似せるも東向は西向より稍濕地にしてヤチダモ・ハルニレ・ミヅキ多くウダイカンバ少し。ヒメノガリヤス・マヒヅルサウ・クマイザサも西向より少く、纏縫植物も其の傾向あり。尚筐は西向に於いては本數多けれど高さ低く、東向に於ては本數少なきも高さ高く、局部的に優勢なり。

次に西達布入口試験地は、西東向試験地と同様明治44年5月火災に罹り、大正5年春歐洲唐檜及び歐洲赤松を混植せる造林地にして、生長早きものは樹高7m、胸高直徑6cmに達せるものありしが、昭和5年8月13日再度の山火に會ひ、造林木は全滅せり。火災前造林地たりし時の植相状態は造林木の間にバツコヤナギ・イタヤカヘデ・ヒロハノキハダ・イヌエンジユ・ウダイカンバ・シラカンバ・ハリギリ等の亞喬木を交へタラノキ・エゾニハトコ・ツルウメモドキ・ツタウルシ・テウセンゴミシ等の灌木又は纏縫植物を點生し、地表は全面殆ど筐を以て覆はる。草本類としてはマヒヅルサウ・ゴゼンタチバナ・ワラビ・ヨモギ等筐の中に混生す。本試験地は火災當初の植相の推移を知るに貴重なる参考資料たるべし。

IV. 試験地の設定

昭和5年7月西向斜面に10m×15mのクオドラートを設け、亦昭和6年8月に東向斜面に10m×10mのクオドラートを設定し、尚西達布入口試験地には昭和5年10月5m×5mのクオドラートを設け、調査を續行せるものにして測定の回数次の如し。

西向試験地 海拔高 270 m 傾斜 35°	東向試験地 海拔高 300 m 傾斜 25°
調査回数 調査期日	調査回数 調査期日
第1回 昭和5年7月(1930)	第1回 昭和6年8月(1931)
第2回 昭和7年8月(1932)	第2回 昭和8年7月(1933)
第3回 昭和10年8月(1935)	第3回 昭和10年8月(1935)
西達布入口試験地 海拔高 310 m 傾斜 20°	
調査回数 調査期日	調査回数 調査期日
第1回 昭和5年10月(1930)	第4回 昭和8年9月(1933)
第2回 昭和6年6月(1931)	第5回 昭和10年9月(1935)
第3回 昭和7年6月(1932)	

V. 植相調査

(1) 林分の構成状態調査 林分の構成状態を調査せんため、試験地設定の當初昭和5年7月、昭和6年8月に於て西向・東向に 50 m 平方 (0.25ha) の標準地をとり、樹高 1.5 m 以上のもの全部の胸高直徑と樹高の測定をなし樹高階別本數分配表を作製せるに第1~4表の如し。

本調査に於ける樹種別本數分配表をみると東向西向とも、其の混淆歩合に於て 5% 以上のものはウダイカンバ・バツコヤナギ・ハリギリ・アサダ・イヌエンジユ・アヅキナシ・イタヤカヘデ・タラノキなり。兩試験地ともバツコヤナギは最高にして、就中西向にあつては 14% を占む。燒跡地特有のタラノキは東向に於ては 8% を占るものにして、明らかに現林相は第二次的に遷移すべき初期の階程と推察し得べきものなり。山火跡地に於ける針葉樹の發生に就ては館脇氏及岩間氏が天鹽第1 及第2 演習林に於ける調査にても論する所ありたりと雖も、本區域内にもトドマツ 5 本現存せるも、内 4 本は罹災後發生せるものにあらずして、火災前の稚樹の焼残れるものなり。トドマツ・エゾマツの母樹は本試験地より、西向にありては水平距離約 400m の所に存在し、東向に在りては約 300 m の所に存在す。罹災後 20 餘年の今日尙バツコヤナギ・タラノキ等は本數減少の傾向著しきも、相當優勢なり。目下再生林の手入撫育と將來罹災地に於ける森林取扱方研究の目的を以て別に本試験地附近に於てエゾマツ・トドマツの下木植栽をなし手入等行ひつつあり。

(2) クオドラー調査 クオドラー圖は第 III, IV 圖版の如し。

第1回より第5回迄の調査の結果より、總本數、被度 (*Deckungsgrad*)、恒存度

(Konstanz) を算出し各種遷移の状態をみると第5~7表の如し。

a. 罷災直後の植相の遷移 西達布入口試験地は 罷災の年よりクオドラート調査を開始せるものにして、第1回目の調査は昭和5年10月6日罷災後2ヶ月を経過せるのみなるも、既に植物の生長停止期に入りたる時期なるため、特殊のものを除きては未だ発生せず、即ち山火前より優勢なる下草たりし箇が、全般に亘りて速早く発生し約10cmに生長し既に2~3葉生じたり。此の事實より箇の生長の如何に旺盛なるかを知るを得可く、他の植物としてはタラノキ・ウラジロイチゴの如き陽性の灌木類が箇に混生し、草本類としてはタンボボ・カウゾリナ・ヨモギの如き陽性菊科植物類多く、ワラビも発生せり。第2回調査即ち昭和6年6月26日に於ては植物の種類は著しく増加し、殊に箇の生長は旺盛にして本數も倍加し、桿長20cmに達するものあり、灌木類には新しくエゾニハトコが生じたるも之は萌芽せるもの多く、又タラノキ・エゾイチゴにも再生のもの相當あり、草本には菊科植物其他宿根性のものにして舊株より発生せるものあり。第3回の調査は昭和7年6月22日にして、クオドラート内外を通じて各種の稚樹發生をみると、即ち内にはウダイカンバ外には歐洲赤松を初めとしバツコヤナギ・イタヤカヘデ・ウダイカンバ・シラカンバ・オホバボダイジュ・ヤマナラシ等の稚樹が箇の疎生せる個所、倒木、根株の蔭に生育し全般に亘つて點生す。何れも1~2年生多くヤマナラシ・ヤナギ等は既に樹高1m近きものあり、其他イヌエンジユ・イタヤカヘデ・バツコヤナギ等は舊株より萌芽せるもの多し。亦他の灌木類・箇等も益々生長をなし種類本數共に増加し、山火跡地の再生林を形造る。第4回の調査は昭和8年9月11日にして、此時は植物の種類は全般に亘りて餘り増加せず、本數に至つてはクマイザサ・エゾイチゴ・マヒヅルサウの如きが増加せるのみなり。第5回の調査即ち昭和10年9月3日に於けるものは、山火後5ヶ年を経過せるも著しき變化を認めず、前回に比して稚樹類も陽樹に屬するもの2~3生育するも、新しく生ぜるものは毎年消失するもの多し。全體として種類に大差なけれども數量は各種とも減少の傾向あり、即ち優勢種たりしクマイザサ・タラノキ等は著しく生長を減退したるも太桿となり、地面全體を被包して他の植物の生育の餘地なからしむ。草本類は僅か増加の傾向あるも優勢なるクマイザサの間隙にて年々發生消失するものの如し。尙今回の調査區の傍にトドマツの稚樹1本生育し樹高5cmなり、他の木本類も相當生長し所謂第二次的植相を形成す。

b. 罷災25年後に於ける植相の遷移 クオドラート調査表第5~6表による西向・

東向試験地の結果に於て第1回より第3回調査に至る遷移の状態をみると、被度と恒存度との関係に於て、大體に被度の減少せるものは恒存度も減少する傾向あれど精密なる關係は未だ現れず、本數の減少せるものはウダイカンバ・バツコヤナギ・ヒロハノキハダ等にして被度、恒存度とも同じ傾向をとるも、ヒロハノキハダは特に減少の割合著し。共に優勢木なれば注目に値するものなり。次に稚樹をみるとハリギリ・ホホノキは増加の傾向あるもヒロハノキハダは極端に減少す。之れは當演習林に於て調査せる森林火災に於ける樹種の耐火及び恢復力に就ての報告にもヒロハノキハダ稚樹の焼跡に發生多きことを述べ、亦津村昌一氏は北海道林業會報（昭和4年4月號）に於てカンバ・キハダ・ヤナギ等陽性の闊葉樹が焼跡地には所狭き迄に生育し、本數に於てヒロハノキハダが約半數を占據せることを説述せり。これに依るも罹災當初發生の割合多きものは年月の経過とともに減少の割合も多きことを示す。次にクマイザサをみると被度・恒存度とも目下のところ減少の傾向なきも、元來或一定量の光線の範圍内に於ては相當可塑性大なるものの如し。次に草本に於てはヒメノガリヤス・ヤナギサウ等焼跡地特有の種類は共に減少の傾向あり。ヒメノガリヤスは本數・被度共減少の割合大なれども恒存度は比較的減少せず。然れども被度の減少は明かに衰減の傾向あるものなり。ヤナギサウは本數・被度・恒存度とも減少して植相の推移とともに消滅の傾向明かなり。

c. 樹冠の關係 クオドラート區に於て樹種別に樹冠の投影面積表を作製して、其の面積の増減をみると第8~9表の如し。即ちこの合計表をみるとバツコヤナギは減少の傾向著しくウダイカンバ・ヒロハノキハダこれに次ぎアサダ・ハリギリは増加の傾向あるもの如し。

(3) 土壤成分の測定 次に土壤(東向試験地)の化學的成分を掲ぐ。(有山恒氏調査)

乾燥細微土の場合

灼熱の際に於ける損失	11.44%	Al ₂ O ₃	2.73%	P ₂ O ₅	0.19%
腐植質	6.47	Fe ₂ O ₃	6.58	S O ₃	0.36
全窒素	0.40	FeO	3.38	Cl	0.01
鹽酸に不溶物	88.63	Mn ₂ O ₃	0.40		
鹽酸に溶解せる硅酸	0.11	CaO	1.72	硫酸に依り可溶性となれる粘土分	
炭酸曹達に溶解せる硅酸	8.91	MgO	1.90		
硅酸合計	9.02	K ₂ O	0.32	Si O ₃	8.22%
		Na ₂ O	0.30	Fe ₂ O ₃	6.00
				Al ₂ O ₃	

其の酸度測定は次の如し。

種別 個所		地 下 10cm	地 下 30cm	平 均	種別 個所		地 下 10cm	地 下 30cm	平 均
東 向	谷	pH 5.6	pH 6.2	pH 5.9	西 向	中 腹	pH 5.0	pH 5.4	pH 5.2
	中 腹	6.2	6.6	6.4	峯		5.8	5.4	5.6
	峯	6.0	6.2	6.1	平 均		5.4	5.4	5.4
平 均		5.9	6.3	6.1	總 平 均		5.7	5.9	5.8

即ち pH 値は西向は東向より小なり、谷、中腹、峯に於て峯より谷の小なる傾向あり、地下の深さに於て 30 cm の方大なり。

(4) 光度の測定 太陽の光線が森林の構成状態に及ぼす影響の大なるは言ふ迄もなき事なるも、森林にありては特に重要なは散光にして、凡ての葉は散光を利用すといふを得べく、嘗て CIESLAR 氏は感光紙の感光度を利用し、ブナノキ林分、イスアカマツ林分及びモミの林分等に就き 林分の綜合鬱閉により措止せられたる光線の量を林内外に於て、林木の樹冠其の他に依り遮断せらるる光線の量を比較し、⁽¹⁾ DENGLER 氏も樹種の光線に對する要求及陽陰樹に就いて論じ、近くは佐藤義夫氏、GRASOUSKY 氏、SHILEY 氏等が、稚樹と光線の關係に就いて論じ、又原田泰氏は林内に於ける陽光強度に就ての一考察と題して論じたる事あるも、本試験に於ては植相の遷移による受光量の相違を調査する目的を以て、クオドラート内に於て大山式日射計（中央氣象臺検定済）を用ひ、箇の高さに於ける林内外の關係的受光量を測定せり。爰に比較受光量とは附近皆伐地に於て測定せる熱量と、クオドラート地内に於ける熱量との比を便宜 1 cm^2 に付グラムカロリーにて表はしたものにして、10 分毎に測定せる一日の總量をいふ。即ち昭和 8 年と昭和 11 年とに於て、同一箇所に機械を設置し測定せるに次の如き結果を得たり。

昭和 8 年 6 月 16 日 天候 晴 雲量 5 $\frac{\text{クオドラート内の値 } 45.84 \text{ gr.cal}}{\text{皆伐地内の値 } 233.93 \text{ gr.cal}} = \frac{1}{5}$

昭和 11 年 9 月 13 日 天候 晴 雲量 4 $\frac{\text{クオドラート内の値 } 42.07 \text{ gr.cal}}{\text{皆伐地内の値 } 245.66 \text{ gr.cal}} = \frac{1}{6}$

(1) Morosow; 1928. Die Lehre vom Walde, S. 162.

(2) DENGLER; 1930. Ökologie des Waldes, S. 142, 143.

(3) 林學會雜誌第 15 卷第 10 號 820 頁

即ち光度の比較は同一の月日にして、同一の天候の下に測定を行ふ（厳密に言へば眞の比較測定は不可能なるも）事を要すれども、かゝる事は仲々困難なり。本測定の結果に依れば昭和8年6月16日に於ては林内と林外との光線の量の比は $\frac{1}{5}$ にして3ヶ年経過せる昭和11年9月13日に於てはその比は $\frac{1}{6}$ となれるをみる可し。晴天1日を擇び林内と林外との測定をなしたるものなるを以て日射計特有の誤差等ありと雖も、本測定を繼續する時は植相遷移の關係を知るに足る可きものと認む。

VII. 摘 要

本試験は山地火災跡地に於ける森林の構成狀態が如何に遷移するかを研究するの目的を以て着手したものにして、將來之を繼續調査するは勿論なるも本文にも説述せる通り、罹災地の森林取扱に關する方法をも併せて調査せんが爲、本試験地附近に針葉樹下木植栽、闊葉樹林撫育等に關する測定をも行ひつつあり。

本試験地觀察を要略すれば次の如し。

1. 火災直後の西達布入口試験地に於ける結果を見るに植相中最も優勢なるものはクマイザサにして地表全面を被ひ火災後5ヶ年間にマヒヅルサウ・タンボボ・コウゾリナ・ヨモギ等の菊科植物漸次増加せる内に既にタラノキ・ウラジロイチゴ・エゾニハトコ・ヤナギ類・ウダイカンバ・カヘデ類の發生を見る。ヒロハノキハダは當演習林他の試験地に於ては火災直後直ちに發生をみると、本試験地は附近に母樹なく從つてヒロハノキハダの發生なかりしなるべし。

2. 火災後25年を経過せる東向及西向試験地に於ては草本植物中可塑性強きマヒヅルサウのみ残り、亦ツキサウ・スゲ類等漸次優勢となれるを見る可し。纏縛植物は今尚増加の傾向著しく、笹は漸次其の本數を減じ、灌木類に於てはタラノキ・エゾニハトコは順次發生消滅を繰返すも漸次其の本數を減するの傾向著しく、ヒロハノキハダ・ウダイカンバは其の本數を減するも、殘存せるものは尚生長旺盛にして、バツコヤナギも尚其の生長衰頽の徵なく、イタヤカヘデは漸次優勢を占むるに至る。

第1表 西向試験地樹

樹種 樹高 m.	バツコヤナギ	ハリヤカナ	ウダイカシユ	イヌエンジユ	アヅキナ	アサノ	タラヘ	イタカノ	シナヘンボク	ヤマグ	ミキ	ホノキ	ヒロハノキ	サハグ	オホバボダ	ツリバ	ドロバ	ミヅナ	コバノトネリコ
1.5~2.0	2	20	—	11	16	4	15	14	24	23	11	1	6	18	4	2	10	—	1 2
2.1~2.5	4	36	1	25	26	14	17	15	11	27	23	9	22	14	10	3	14	2	3 3
2.6~3.0	10	28	6	29	25	17	10	11	14	18	20	11	6	3	8	3	4	3 4	1
3.1~3.5	12	40	11	49	40	28	16	22	19	15	10	9	7	2	8	3	2	3	— 3
3.6~4.0	15	21	9	32	21	12	21	11	11	5	4	12	3	2	4	2	2	2	4
4.1~4.5	28	30	20	25	17	24	14	14	9	1	3	7	2	—	—	3	—	1 2	2
4.6~5.0	34	34	13	18	10	18	8	8	9	2	1	4	1	—	3	3	—	1 3	1
5.1~5.5	53	19	27	20	8	5	5	9	8	—	2	4	4	—	—	4	—	2	3 —
5.6~6.0	37	11	32	15	10	2	7	4	2	—	—	7	2	—	—	5	—	—	2 1
6.1~6.5	52	7	30	4	1	3	3	4	3	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—
6.6~7.0	31	4	30	2	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	3 —
7.1~7.5	19	1	12	3	—	—	1	1	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—	1 —
7.6~8.0	14	—	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8.1~8.5	6	—	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8.6~9.0	6	—	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9.1~9.5	1	—	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9.6~10.0	2	—	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
10.1~10.5	3	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10.6~11.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11.1~11.5	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11.6~12.0	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12.1~12.5	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12.6~13.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	330	251	241	233	175	128	118	114	110	91	74	72	53	39	38	32	32	20	20 17
1ha當り	1320	1004	964	932	700	512	472	456	440	364	296	288	212	156	152	128	128	80	80 68
混淆歩合(%)	14.41	10.96	10.52	10.17	7.64	5.59	5.15	4.98	4.80	3.97	3.23	3.14	2.31	1.70	1.66	1.40	1.40	0.87	0.87 0.74

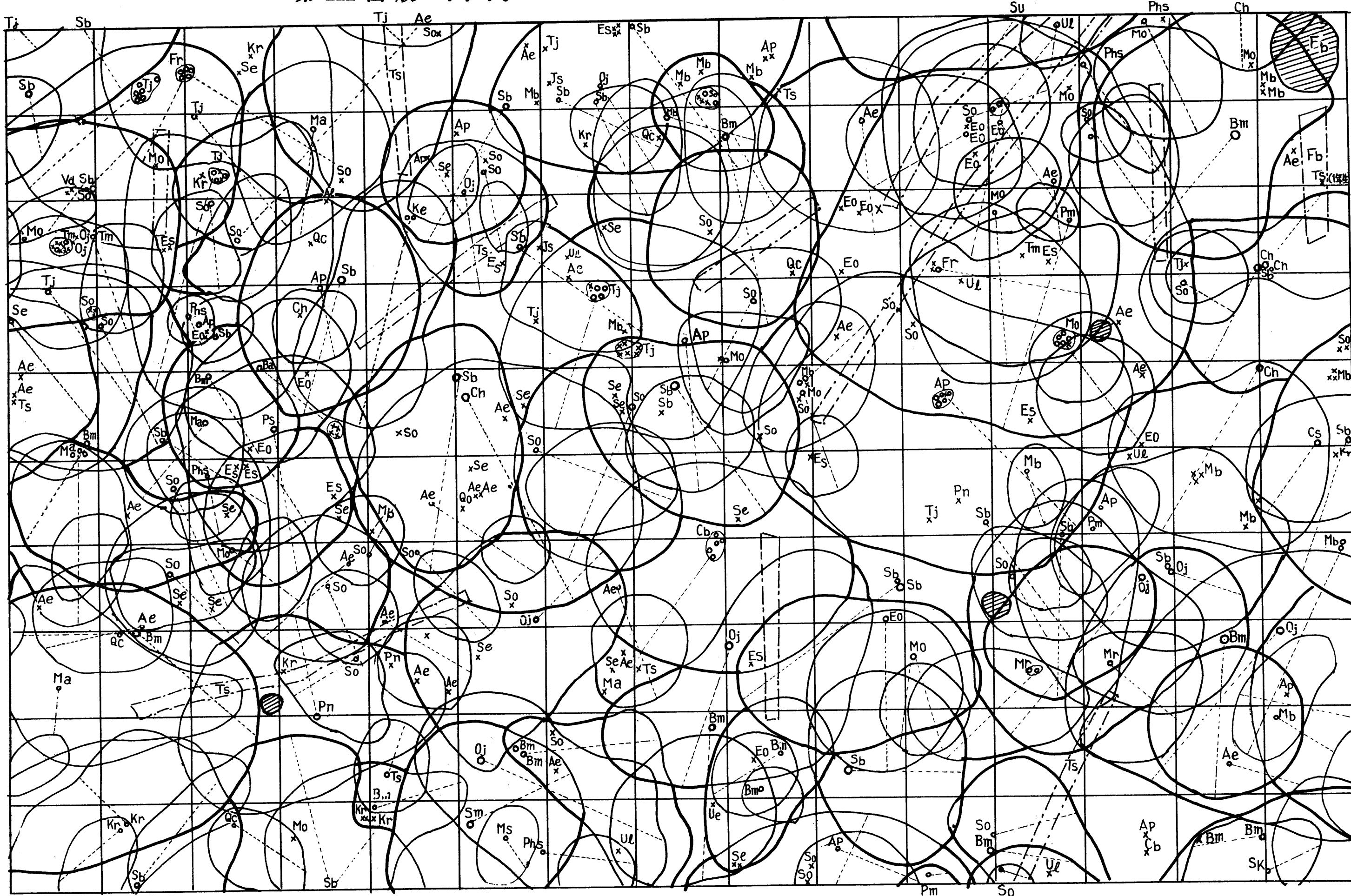
種, 樹高階別本數分配表

キ タ	ハ ビ	オ ヒ	シ ラ	エ ゾ	メ イ	ニ ヤ	ミ ヤ	ハ ル	ト ド	ア カ	ヤ マ	ム シ	コ マ	コ シ	エ ゾ	カ ニ	力 ツ	ミ ヤ	ケ ヤ	ヤ マ	合 計	1 ha 當 り
コ ヌ	イ ウ	カ カ	ヨ マ	ガ ザ	ニ マ	ガ ザ	ニ マ	マ ク	イ タ	モ タ	ユ ナ	カ ブ	ア ナ	ブ ラ	エ ゾ	ハ ト	コ ロ	カ マ	マ ハ	ナ ラ		
ブ ガ	ガ ニ	シ ヤ	バ レ	ク ヘ	ク ヘ	デ キ	ラ レ	ツ	ヤ デ	リ ミ	ギ ラ	リ ミ	ギ ラ	ギ ラ	エ ゾ	ニ ハ	コ ロ	カ マ	ハ ン	ナ シ		
2	11	2	—	—	—	—	—	1	2	—	1	—	3	2	—	—	—	—	—	—	208	832
6	—	5	1	1	2	—	1	—	3	1	—	—	—	1	—	2	—	1	—	—	303	1212
—	—	3	—	1	1	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	240	960
1	—	1	—	1	3	2	1	—	—	—	3	—	—	1	1	—	—	—	—	—	313	1252
1	—	—	1	—	1	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	200	800
2	—	—	1	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	208	832
2	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	174	696
1	—	—	1	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	179	716
—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	140	560
—	—	—	3	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	117	468
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	77	308
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	43	172
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25	100
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	64
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	56
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	36
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	14
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	20
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	8
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	4
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	4
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15	11	11	10	9	7	6	5	4	3	3	3	3	2	2	2	2	2	1	1	1	2290	—
60	44	44	40	36	28	24	20	16	12	12	12	12	8	8	8	8	8	4	4	4	—	9160
0.66	0.48	0.48	0.44	0.39	0.31	0.26	0.22	0.17	0.13	0.13	0.13	0.13	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.04	0.04	0.04	—	—

第2表 西向試験地樹

樹種 直徑 cm 階	バツ コヤナ ギリ	ハ リ	ウ ダ イ カ ン ジ ユ	イ ヌ エ ン ジ ユ	ア ヅ サ シ ダ	ア ラ ノ ヘ キ	タ ラ カ ヘ デ	イ タ ヤ カ ノ ボ	シ ナ ク ウ ン ボ	ハ ク マ グ ク	ヤ マ グ ハ	ミ ヅ キ	ホ ヽ ノ キ ハ ダ	ヒ ロ ハ ヽ ノ キ ハ ダ	サ ハ シ バ	オ ホ バ ボ ダ イ ジ ユ	ツ リ バ ノ ジ ユ	ド ロ バ ノ キ	ミ ヅ バ ノ キ	コ バ ノ ト ホ リ コ	
0.1~0.5	—	—	—	2	2	3	—	3	1	—	—	—	—	10	—	—	—	5	—	—	1
0.6~1.0	2	20	—	5	30	14	6	19	11	25	21	2	13	15	5	2	16	1	—	4	
1.1~1.5	6	28	1	16	35	17	18	23	18	37	2	9	11	10	16	5	8	2	7	1	
1.6~2.0	7	43	7	44	31	20	16	17	13	19	20	9	9	6	10	3	1	1	3	6	
2.1~2.5	9	35	9	36	28	15	20	18	18	4	12	5	4	6	3	2	2	3	3	2	
2.6~3.0	15	36	10	24	15	14	20	10	8	3	7	8	3	2	2	2	—	6	1	1	
3.1~3.5	19	25	12	20	12	9	7	5	8	3	2	10	1	—	2	—	—	—	—	1	
3.6~4.0	26	26	23	23	9	13	12	10	10	—	2	6	1	—	—	4	—	2	1	1	
4.1~4.5	31	13	15	19	3	7	11	3	2	—	2	4	—	—	—	4	—	2	3	—	
4.6~5.0	39	15	18	10	5	8	4	4	7	—	1	5	1	—	—	2	—	—	1	—	
5.1~5.5	27	3	25	9	2	3	4	—	5	—	—	3	—	—	—	6	—	1	1	—	
5.6~6.0	32	2	28	12	3	4	—	2	3	—	—	4	—	—	—	2	—	—	—	—	
6.1~6.5	27	2	20	5	—	—	—	—	3	—	3	6	—	—	—	—	—	—	—	—	
6.6~7.0	23	2	11	4	—	1	—	—	3	—	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	
7.1~7.5	11	1	14	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	
7.6~8.0	15	—	14	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	
8.1~8.5	12	—	11	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
8.6~9.0	5	—	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
9.1~9.5	6	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
9.6~10.0	5	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
10.1~10.5	4	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
10.6~11.0	3	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
11.1~11.5	2	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
11.6~12.0	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
13.1~13.5	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
14.6~15.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合 計	330	251	241	233	175	128	118	114	110	91	74	72	53	39	38	32	32	20	20	17	
1ha當り	1320	1004	964	932	700	512	472	456	440	364	296	288	212	156	152	128	128	80	80	68	
混淆歩合 (%)	14.41	10.96	10.52	10.17	7.64	5.59	5.15	4.98	4.80	3.97	3.23	3.14	2.31	1.70	1.66	1.40	1.40	0.87	0.87	0.74	

第 III 圖版 西向 クオドラート (19j) (15×10m)

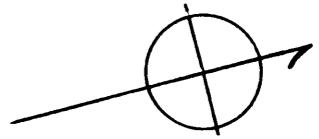


1

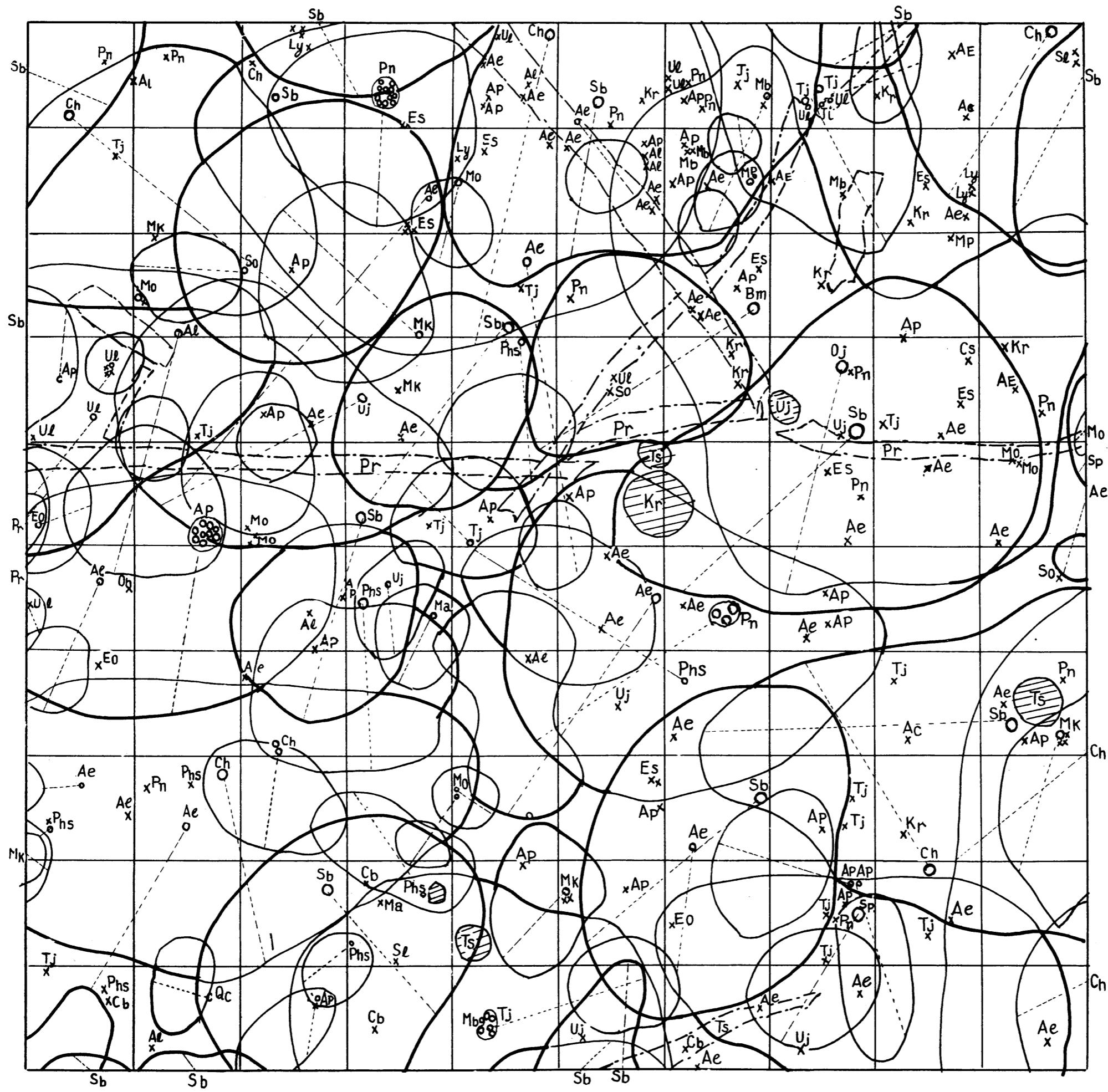
10

冠冠株木樹
ノノ根

第 IV 圖版 東向 クオドラート (19d) (10×10m)



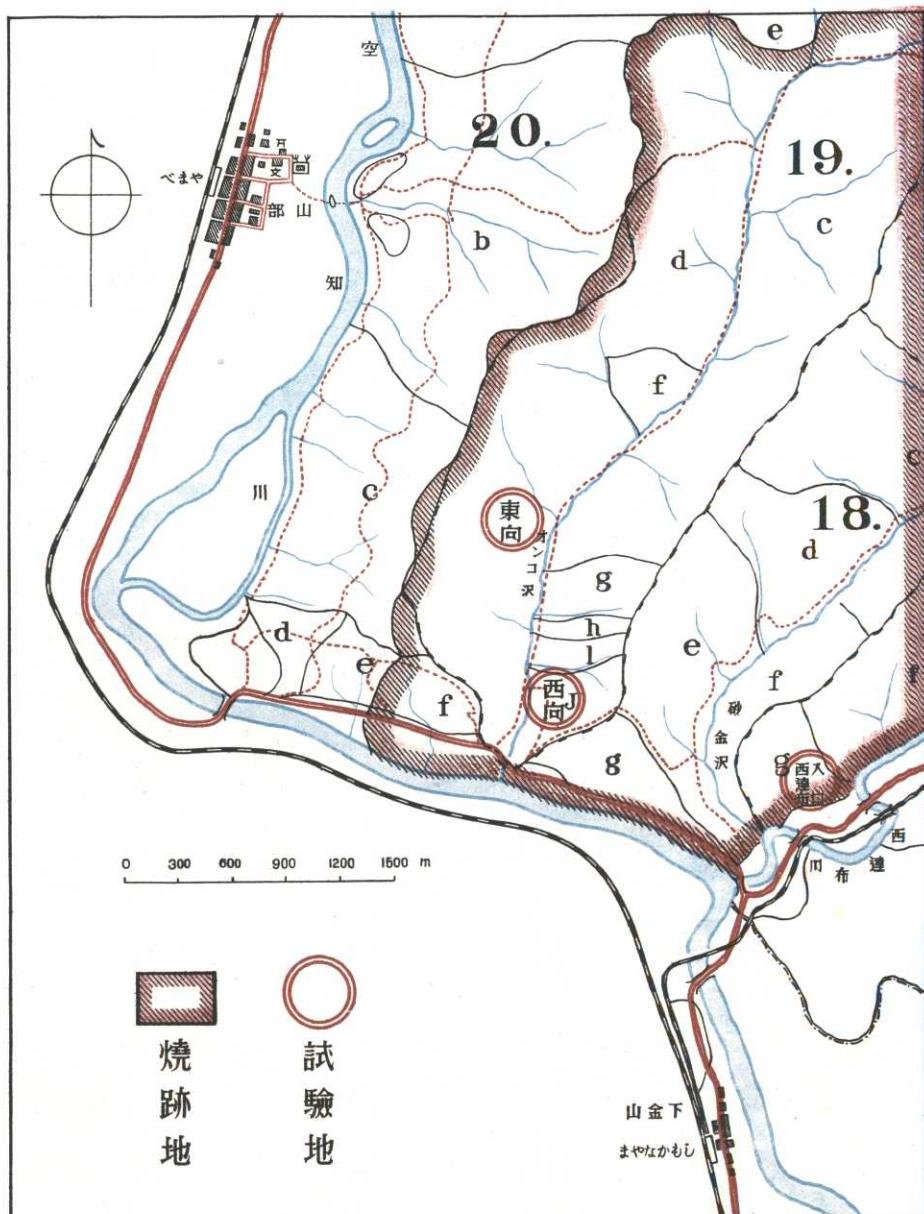
1
40



Bm	うだいかんば	Phs	ひろはのきはだ
Oj	あさだ	Tj	しなのき
Cb	さはしば	Tm	おほおほだいじゅ
Sb	ばつこやなぎ	QC	みづなう
Pm	どろのき	Mo	ほほのき
Ap	いたやかへで	MK	きたこぶし
Ae	おほもみち	CS	かづら
Ma	あづきなし	Ch	みづき
Pr	えぞやまざく	Mb	やまぐは
Al	たらのき	So	はくうんぼく
Kr	はりぎり	Pn	にかぎ
Uj	はるにれ	Ly	えぞいぼた
Ul	おひょうにれ		

第 I 圖 版

試驗地位置圖



第 II 圖 版



1 東向試験地内シナノキの萌芽状況



2 東向試験地タオドラート調査區



3 東向試験地に於けるバツコヤナギ
ウダイカンバの優勢なる生長状況

第3表 東向試験地樹

樹種 樹高 m.	バツ コヤナギ リ	ハ ヤ ギ リ	ミ カ ギ キ	イタ ヤカ ヘ デ	ア ヅ キ シ ン	アル ノ シ	タ ラ キ	オホ ボ ダ ジ ユ	ヤ チ ダ モ	シ ナ ジ ュ	ホ ノ キ	マ グ キ	ヤ ハ レ	オヒ ボ ダ ジ ユ	ミ ヅ ナ ラ	ニ ガ キ	イス エ ン ジ ユ	ウ ダ イ カ ン バ サ ダ
1.5~2.0	2	23	15	43	42	62	21	12	20	25	13	23	6	3	6	1	—	1
2.1~2.5	6	14	18	27	32	31	20	9	16	14	15	13	15	5	11	5	—	3
2.6~3.0	3	30	23	30	27	23	32	15	19	12	17	9	9	7	6	2	—	2
3.1~3.5	14	27	40	37	25	10	29	16	19	14	6	2	7	6	9	7	1	—
3.6~4.0	13	9	14	6	10	7	10	4	4	2	4	—	6	4	2	2	—	2
4.1~4.5	13	15	19	5	8	3	8	11	2	3	2	1	2	2	—	2	4	4
4.6~5.0	9	11	19	2	3	1	6	6	2	5	2	—	—	10	—	5	1	1
5.1~5.5	23	12	12	—	1	3	4	8	—	4	2	—	—	1	—	1	4	1
5.6~6.0	18	8	4	—	—	—	5	6	2	1	—	—	—	2	—	2	4	3
6.1~6.5	13	10	2	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	1	1	4
6.6~7.0	21	7	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3
7.1~7.5	18	7	—	—	—	1	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	2	5
7.6~8.0	13	5	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	1
8.1~8.5	9	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8.6~9.0	2	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9.1~9.5	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—
9.6~10.0	4	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
10.1~10.5	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
10.6~11.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
11.1~11.5	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11.6~12.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12.1~12.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—
12.6~13.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	187	186	167	150	148	141	135	87	84	84	61	48	45	41	34	31	30	24
1ha當り	748	744	668	600	592	564	540	348	336	336	244	192	180	164	136	124	120	96
混淆歩合(%)	10.44	10.38	9.60	8.37	8.26	7.87	7.53	4.85	4.68	4.69	3.40	2.68	2.51	2.29	1.90	1.73	1.67	1.34

種、樹高階別本數分配表

																			合 計	1 ha 當 量
キ タ コ ブ シ	エ ゾ ヤ マ ガ ク ラ	ツ リ マ バ ナ	ヒ ロ ハ ノ キ ハ ダ	シ ラ カ ン バ	サ ハ シ ク ラ	ド ロ ノ キ	ミ ヤ マ ザ ク ラ	ア カ イ タ ヤ	コ マ ユ ミ	ハ ク ウ ン ボ ク	カ ツ ラ	ト ド マ ツ	ヤ マ モ ミ ヂ	ナ 、 カ マ ド	サ ビ タ	ヒ ア ン ス マ ユ ミ	1 ha 當 量			
7	—	2	5	—	—	—	—	1	2	3	—	1	2	2	—	1	345	1380		
2	—	3	2	—	—	—	—	—	1	—	1	1	—	—	—	—	264	1056		
2	3	10	4	1	3	4	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	294	1176		
2	1	—	—	1	3	2	1	1	—	—	1	1	—	—	—	—	282	1128		
1	2	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	105	420		
2	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	109	436		
3	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	87	348		
—	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	80	320		
1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	56	224		
—	3	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	36	144		
—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	36	144		
—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22	88		
—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	48		
—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	5	20		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	8	32		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	3	12		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	2	8		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	3	12		
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	2	8		
20	15	15	14	8	6	6	5	4	3	3	3	2	2	1	1	1	1792	—		
80	60	60	56	32	24	24	20	16	12	12	12	8	8	4	4	4	—	7168		
1.12	0.84	0.84	0.78	0.45	0.33	0.33	0.28	0.22	0.18	0.18	0.18	0.11	0.06	0.06	0.06	0.06	—	—		

第4表 東向試験地樹

樹種 直徑階 cm.	バツコヤナギ	ハリヤカヘギ	ミヅキ	イタヤカヘデ	アヅキナシ	アルニ	タラノ	オホバボダ	ヤチモ	シノキ	ホノキ	ヤマヒヨウ	ミヅガ	ニガ	イヌエンジユ	ウダイカンバ	アサダ	
0.1~0.5	—	1	—	6	14	15	—	—	4	—	1	2	1	—	—	—	1	
0.6~1.0	1	15	25	65	50	60	4	13	23	24	14	29	11	3	12	1	1	
1.1~1.5	6	30	15	35	37	31	22	16	25	20	21	7	12	9	12	8	—	
1.6~2.0	9	21	27	26	19	13	35	11	16	11	11	7	8	1	4	6	1	
2.0~2.5	5	25	19	9	12	7	18	10	7	3	8	2	7	6	5	2	—	
2.6~3.0	12	14	25	4	5	4	20	8	7	4	1	1	4	3	1	2	1	
3.1~3.5	13	10	18	2	9	4	11	9	3	7	3	1	1	3	—	2	4	
3.6~4.0	10	13	12	2	—	—	7	4	2	3	2	—	—	3	—	—	1	
4.1~4.5	12	8	6	—	1	3	7	8	—	1	—	—	—	5	—	1	3	
4.6~5.0	13	9	5	1	—	2	6	3	1	2	1	—	—	3	—	2	7	
5.1~5.5	9	5	6	—	1	—	3	2	—	2	—	—	—	1	—	—	2	
5.6~6.0	21	1	5	—	—	2	1	—	—	1	—	—	—	—	—	3	4	
6.1~6.5	10	4	2	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	2	—	1	3	
6.6~7.0	16	2	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
7.1~7.5	11	6	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	3	—	
7.6~8.0	9	3	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	
8.1~8.5	6	3	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	2	1	—	
8.6~9.0	9	3	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	2	2	—	
9.1~9.5	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	
9.6~10.0	4	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
10.1~10.5	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
10.6~11.0	5	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
11.1~11.5	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
11.6~12.0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
12.6~13.0	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
14.6~15.0	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	187	186	167	150	148	141	135	87	84	84	61	48	45	41	34	31	36	24
1ha當り	748	744	668	600	592	564	540	348	336	336	244	192	180	164	136	124	120	96
混淆歩合(%)	10.44	10.38	9.60	8.37	8.26	7.87	7.53	4.85	4.69	4.69	3.40	2.68	2.51	2.29	1.90	1.73	1.67	1.34

種、直徑階別本數分配表

キ タ コ ブ シ	エ ゾ ヤ マ ザ ク ラ	ツ リ バ ナ	ヒ ロ ハ ノ キ ハ ダ	シ ラ カ ン バ	サ ハ シ バ	ミ ヤ マ ザ クラ	ド ロ ノ キ	ア カ イ タ ヤ	コ マ ユ ミ	ハ ク ウ ン ボ ク	カ ツ ラ	ト ド マ ツ	ヤ マ モ ミ ヂ	ナ 、 カ マ ド	サ ビ タ	ヒ ア ン ス マ ユ ミ	合 計	1 ha	當 り
1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	2	—	—	1	51	204
5	—	8	1	—	—	1	—	—	2	3	2	2	1	—	—	—	—	376	1504
3	2	1	7	1	1	1	1	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	326	1304
3	2	6	3	1	1	4	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	250	1000
2	5	—	1	—	—	1	1	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	157	628
—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	121	484
—	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	105	420
3	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	63	252
1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	56	224
2	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	62	248
1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	34	136
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	160
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	27	108
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	23	92
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22	88
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	64
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	56
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17	68
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	20
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	28
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	16
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	32
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	12
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	4
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	12
20	15	15	14	8	6	6	5	4	3	3	3	2	2	1	1	1	1792	—	—
80	60	60	56	32	24	24	20	16	12	12	12	8	8	4	4	4	—	7168	
1.12	0.84	0.84	0.78	0.45	0.33	0.33	0.28	0.22	0.18	0.18	0.18	0.11	0.11	0.06	0.06	0.06	—	—	

第5表 西向試験地クオドラー調査表

類	種 名	總 本 數			被 度 (%)			恒 存 度 (%)		
		1930	1932	1935	1930	1932	1935	1930	1932	1935
從 喬	ト バ マ ツ	1	—	* 1	1	—	1	1	—	1
	シ ラ カ ノ バ	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	ウ ダ イ カ ノ バ	23	16	16	15	10	9	13	9	9
	ア サ グ ダ	10	8	8	6	5	5	6	5	5
	サ ハ シ バ	7	7	7	4	4	4	1	1	1
	バ ツ コ ヤ ナ ギ	24	24	22	15	14	13	15	14	13
	ヤ マ ナ ラ シ	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	ド ロ ノ キ	2	2	2	1	1	1	1	1	1
	イ ダ ヤ カ ヘ デ	6	10	10	4	6	6	1	4	3
	オ ホ モ ミ チ	—	—	2	—	—	1	—	—	1
木 階	ア ヴ キ ナ シ	1	2	2	1	1	1	1	1	1
	コ バ ノ ド ネ リ コ	6	7	7	4	4	4	2	2	2
	タ ラ ノ キ	12	13	7	8	7	4	8	8	5
	ハ リ ギ リ	4	4	6	3	2	3	1	1	3
	ヒ ロ ハ ノ キ ハ ダ	13	11	4	8	6	2	9	7	3
	シ ナ ノ キ	10	14	16	6	8	9	3	3	3
	オ ホ バ ボ グ イ ジ ュ	1	1	4	1	1	2	1	1	1
	ミ ヴ ナ ラ	2	3	4	1	2	2	1	2	2
	ホ ホ ノ キ	12	13	18	8	7	10	7	5	7
	イ ヌ エ ネ ジ ュ	1	3	3	1	2	2	1	1	1
階	ミ ヴ ザ キ	4	2	4	3	1	2	3	1	2
	ヤ マ グ ハ	6	9	7	4	5	4	3	5	4
	ハ ク ウ ソ ボ ク	8	20	21	5	11	12	5	11	13
	ニ ガ キ	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	カ ツ ラ	—	1	1	—	1	1	—	1	1
	オ ヒ ョ ウ ニ レ	—	1	1	—	—	1	—	—	1
小 計		156	174	176	—	—	—	—	—	—

* 1930ノ高 1.10m, 1935ノ高 1.45m

類	種 名	總 本 數			被 度 (%)			恒 存 度 (%)		
		1930	1932	1935	1930	1932	1935	1930	1932	1935
稚	ト ダ マ ツ	4	4	* 4	2	2	3	3	3	3
	ウ ダ イ カン バ	—	7	3	—	4	2	—	4	2
	ア サ ダ	3	—	3	1	—	2	1	—	1
	サ ハ シ バ	2	1	1	1	1	1	1	1	1
	バ ツ コ ヤ ナ ギ	1	—	—	1	—	—	1	—	—
	ド ロ ノ キ	1	—	—	1	—	—	1	—	—
	イ タ ヤ カ ヘ デ	13	12	7	6	7	4	8	7	4
	オ ホ モ ミ チ	2	18	4	1	11	3	1	11	2
	ア ブ キ ナ シ	1	1	—	1	1	—	1	1	—
	ヤ チ ダ モ	—	2	—	—	1	—	—	1	—
	タ ラ ノ キ	40	22	31	18	13	20	21	13	14
	ハ リ ギ リ	7	12	11	3	7	7	4	6	4
	ヒ ロ ハ ノ キ ハ ダ	53	9	1	24	5	1	28	6	1
	シ ナ ノ キ	9	13	10	4	8	6	4	7	5
	オ ホ バ ボ ダ イ ジ ュ	5	6	5	2	4	3	1	2	1
	ミ ブ ナ ラ	4	2	3	2	1	2	3	1	2
	ホ ホ ノ キ	12	12	14	5	7	9	7	5	6
樹	カ ツ ラ	1	—	—	1	—	—	1	—	—
	ミ ブ キ	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	ヤ マ グ ハ	25	11	22	11	6	14	11	3	7
	ハ ク ウ シ ボ ク	32	24	23	14	14	14	18	12	9
	オ ニ グ ル ミ	—	—	2	—	—	1	—	—	1
	ニ ガ キ	1	1	3	1	1	2	1	1	2
	オ ヒ ョ ウ ニ レ	5	8	7	2	5	4	3	5	5
	コ バ ノ ト ネ リ コ	—	3	4	—	2	3	—	1	1
階	ハ ル ニ レ	—	1	—	—	1	—	—	1	—
	小 計	222	170	159	—	—	—	—	—	—

* 内 3本は火災前のもの， 1本は火災後發生す

第5表(續き)

類	種 名	總 本 數			被 度 (%)			恒 存 度 (%)		
		1930	1932	1935	1930	1932	1935	1930	1932	1935
灌木階	エゾニハトコ	30	32	26	22	18	23	17	19	13
	ツリバナ	6	27	21	4	15	18	4	9	7
	コマユミ	6	20	21	4	11	18	2	8	8
	ハヒイヌガヤ	93	92	39	68	51	34	10	11	4
	エゾイボタ	—	—	1	—	—	1	—	—	1
	ツルツゲ	—	2	1	—	1	1	—	1	1
	ナニハズ	—	3	1	—	2	1	—	2	1
	ミヤマガマヅミ	1	4	4	1	2	3	1	3	1
	エゾヒヨウタンボク	—	—	1	—	—	1	—	—	1
小 計		136	180	115	—	—	—	—	—	—
竹	クマイザサ	—	—	5728	36	34	35	98	99	100
纏綿植物	イハガラミ	37	78	73	4	8	7	11	15	16
	シラクチヅル	157	121	171	18	13	17	51	45	52
	オニツルウメモドキ	67	72	86	8	7	9	29	31	36
	ツタウルシ	302	375	337	35	39	34	42	42	44
	テウセンゴミシ	195	213	201	23	22	20	40	40	43
	ミヤママタタビ	7	7	7	1	1	1	3	3	5
	ヤマブダウ	99	96	126	11	10	13	37	35	39
小 計		864	962	1001	—	—	—	—	—	—
草本階	アキタブキ	38	17	17	1	—	—	15	11	8
	アキノキリンサウ	16	52	30	—	1	1	5	9	8
	ウスバサイシン	10	4	8	—	—	—	1	2	3
	ヒメノガリヤス	450	387	238	7	4	4	50	39	37
	クルマバツクバネサウ	9	11	—	—	—	—	3	4	—
	ツクバネサウ	—	5	1	—	—	—	—	3	1

類	種 名	總 本 數			被 度 (%)			恒 存 度 (%)		
		調査年度	1930	1932	1935	1930	1932	1935	1930	1932
草	クルマバムグラ	7	37	6	—	1	—	2	1	1
	クルマユリ	10	12	5	—	—	—	6	8	1
	コウゾリナ	13	—	2	—	—	—	4	—	1
	ホソバノツルリンダウ	15	29	29	—	—	1	7	13	16
	フツキサウ	2829	4023	4119	43	43	62	93	90	95
	ヒトリシヅカ	35	81	69	1	1	1	15	23	19
	ヒメイチゲ	2	5	7	—	1	—	1	19	33
	マヒヅルサウ	1923	3112	423	30	34	6	72	88	55
	スミレ	19	82	108	—	1	2	9	26	28
	ヤナギサウ	14	17	6	—	—	—	6	7	1
木	レンブクサウ	—	—	13	—	—	—	—	—	4
	ヨモギ	6	2	2	—	—	—	2	1	1
	スゲ (a) *	1020	1197	1465	16	13	22	82	91	89
	(b)	45	40	30	1	1	1	9	14	10
	タングボボ	—	3	—	—	—	—	—	2	—
	ギャウジヤニンニク	—	1	—	—	—	—	—	1	—
	サラシナショウマ	—	21	—	—	—	—	—	3	—
	ウメガササウ	—	5	3	—	—	—	—	1	1
	エゾスズラン	—	—	1	—	—	—	—	—	1
	アザミ	—	1	1	—	—	—	—	1	1
階	コンロンサウ	—	—	31	—	—	—	—	—	3
	シダ (a)	24	55	37	—	1	1	7	10	14
	(b)	28	11	8	—	—	—	9	5	4
	ヲシダ	—	—	1	—	—	—	—	—	1
	小計	6513	9256	6660	—	—	—	—	—	—

* スゲは葉の廣き種類を(a), 狹き種類を(b)とせり。

第6表 東向試験地クロドラー調査表

類 種	調査年度 名	總 本 數			被 度 (%)			恒 存 度 (%)		
		1931	1933	1935	1931	1933	1935	1931	1933	1935
從 喬	ウダイカンバ	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	アサダ	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	バツコヤナギ	9	9	9	11	10	11	9	9	9
	イタヤカヘデ	12	12	13	14	14	15	3	3	4
	アヅキナシ	—	1	1	—	1	1	—	1	1
	タラノキ	17	13	9	20	15	11	16	13	9
	ハルニレ	1	2	2	1	2	2	1	2	2
	オセヨウニレ	3	4	2	4	5	2	2	2	2
木	ヒロハノキハダ	8	5	5	9	6	6	7	5	5
	シナノキ	8	9	10	9	10	12	2	3	3
	ミヅナラ	—	1	1	—	1	1	—	1	1
	ホホノキ	—	5	5	—	6	6	—	4	4
	キタコブシ	2	3	3	2	3	4	2	3	3
	ミヅキ	8	7	7	9	8	8	7	6	6
	ヤマグハ	2	2	1	2	2	1	2	2	1
	ハクウンボク	—	—	1	—	—	1	—	—	1
雜 樹	ニガキ	13	14	14	15	16	16	2	2	2
	小計	85	89	85	—	—	—	—	—	—
	サハシバ	3	2	3	2	1	2	2	2	3
	ドロノキ	1	—	—	1	—	—	1	—	—
	イタヤカヘデ	21	26	25	14	15	16	17	21	19
	オホモミヂ	—	6	6	—	3	4	—	6	6
	エゾヤマザクラ	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	アヅキナシ	2	3	3	1	2	2	2	2	2
階	タラノキ	65	73	50	42	41	31	38	44	34
	ハリギリ	8	8	9	5	5	6	7	8	8
	ハルニレ	7	6	4	5	3	2	7	6	4
	オヒヨウニレ	5	5	10	3	3	6	4	4	6

類	種 名	總 本 數			被 度 (%)			恒 存 度 (%)		
		調査年度	1931	1933	1935	1931	1933	1935	1931	1933
稚樹階	ヒロハノキハダ	12	9	5	8	5	3	10	6	5
	シナノキ	9	10	12	6	6	7	9	8	10
	オホバボダイジュ	—	1	—	—	1	—	—	1	—
	ミヅナラ	1	—	—	1	—	—	1	—	—
	ホホノキ	9	9	6	6	5	4	7	3	3
	キタコブシ	6	5	7	4	3	4	4	3	4
	カラツラ	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	ミヅキ	1	1	2	1	1	1	1	1	2
	ヤマグハ	—	2	3	—	1	2	—	2	3
	ハクウンボク	2	2	1	1	1	1	2	2	1
	ニガキ	—	7	13	—	4	8	—	5	10
小 計		154	177	161	—	—	—	—	—	—
灌木階	エゾニハトコ	8	7	5	23	18	9	8	6	4
	ツリバナ	—	2	1	—	5	2	—	2	1
	コマユミ	18	20	31	51	53	60	8	9	15
	エゾイボタ	9	9	5	26	24	29	4	4	4
小 計		35	38	52	—	—	—	—	—	—
籠縫植物	クマイザサ	—	2	2633	33	35	44	97	99	100
	イハガラミ	9	26	37	3	5	4	8	13	11
	シラクチヅル	41	58	78	14	11	8	33	40	43
	オニツルウメモドキ	59	125	194	20	23	20	42	65	77
	ツタウルシ	100	228	429	34	42	43	37	48	52
	テウセンゴミシ	1	—	1	—	—	—	1	—	1
	ミヤママタタビ	41	45	105	14	8	11	25	23	33
	ヤマブダウ	46	57	144	15	11	15	33	40	54
	小 計	297	539	988	—	—	—	—	—	—

第6表（續き）

類	種 名	總 本 數			被 度 (%)			恒 存 度 (%)		
		1931	1933	1935	1931	1933	1935	1931	1933	1935
草 本 階	コケリンダウ	—	3	—	—	—	—	—	2	—
	ヒメムカショモギ	—	1	—	—	—	—	—	1	—
	エゾニウ	—	2	1	—	—	—	—	2	.1
	トンボサウ	—	3	—	—	—	—	—	3	—
	オホハンゴンサウ	—	1	1	—	—	—	—	1	1
	ナツノハナワラビ	—	—	1	—	—	—	—	—	1
	ヒヨドリバナ	—	—	2	—	—	—	—	—	1
	ウシタキサウ	—	2	1	—	—	—	—	2	1
	ヲシダ	1	3	1	—	—	—	1	3	1
小 計		4564	5101	5584	—	—	—	—	—	—

第7表 西達布入口試験地クオドラート調査表

類	種 名	總 本 數			被 度 (%)			恒 存 度 (%)								
		1930	1931	1932	1933	1935	1930	1931	1932	1933	1935	1930	1931	1932	1933	1935
雜 樹 階	ウダイカンバ	—	—	1	1	3	—	—	—	—	—	—	—	4	12	
	オホモミヅ	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	4	
	ヤナギ類	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	8	—	
	歐洲赤松	—	—	—	3	3	—	—	—	—	—	—	—	12	12	
	タラノキ	5	44	166	164	85	—	1	3	2	1	16	64	92	92	84
	エゾニハトコ	—	8	4	2	—	—	—	—	—	—	—	20	12	8	
	ウラジロイチゴ	8	39	55	78	98	1	1	1	1	1	32	56	52	80	76
	イツマタクマ イチゴ	—	—	7	7	10	—	—	—	—	—	—	—	16	24	24
	ナニハズ	—	—	2	4	10	—	—	—	—	—	—	—	4	4	8
小 計		13	91	235	261	210	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
総	クマイザサ	1193	2668	4613	6107	4578	80	76	71	83	67	100	96	100	100	100

第7表（續き）

第8表 西向試験地クオドラート樹種別樹冠投影面積合計表

樹 年 度 種	樹冠投影面積		100m ² = 換算			備 考
	1930	1935	1930	1935	差	
トドマツ	m ² 1.427	m ² 0.809	m ² 0.951	m ² 0.539	— m ² 0.412	樹冠投影面積 %
シラカンバ	2.035	2.396	1.357	1.597	0.240	100m ² = 換算セ
ウダイカンバ	57.753	55.402	38.502	36.935	— 1.567	ルハ本クオドラー
アサダ	28.679	46.531	19.119	31.021	11.902	ト面積ハ 150
サハシバ	7.711	10.522	5.141	7.015	1.874	m ² ナルニヨリ
バツコヤナギ	89.627	65.908	59.752	43.939	— 15.813	東向トノ比較上
ヤマナラシ	2.434	2.412	1.623	1.608	— 0.015	100m ² = 換算セ
ドロノキ	3.191	2.857	2.127	1.905	— 0.222	ルモノナリ
イタヤカヘデ	5.649	15.489	3.766	10.326	6.560	
オホモミヂ	—	1.111	—	0.741	0.741	
アヅキナシ	1.878	9.395	1.252	6.263	5.011	
コバノトネリコ	3.947	7.729	2.631	5.153	2.522	
タラノキ	17.432	17.695	11.621	11.797	0.176	
ハリギリ	2.082	8.062	1.388	5.375	3.987	
ヒロハノキハグ	10.086	1.777	6.724	1.185	— 5.539	
シナノキ	14.649	21.218	9.766	14.145	4.379	
オホバボダイジユ	0.839	3.047	0.559	2.031	1.472	
ミヅナラ	1.956	5.904	1.304	3.936	2.632	
ホホノキ	10.796	11.061	7.197	7.374	0.177	
イヌエシジユ	0.447	3.777	0.298	2.518	2.220	
ミヅキ	15.856	15.807	10.571	10.538	— 0.033	
ヤマグハ	7.758	6.015	5.172	4.010	— 1.162	
ハクウンボク	10.525	25.868	7.017	17.245	10.228	
ニガキ	1.352	4.872	0.901	3.248	2.347	
カツラ	0.431	1.381	0.287	0.921	0.634	
オヒヨウニレ	—	0.841	—	0.561	0.561	
ツリバナ	3.944	7.062	2.629	4.708	2.076	
合計	302.484	354.948	201.655	236.634	34.979	

第9表 東向試験地クオドラート樹種別樹冠投影面積合計表

樹 年 度 種	樹 冠 投 影 面 積			備 考
	1931	1935	差	
ウダイカンバ	m ² 10.000	m ² 3.126	—	m ² 6.874
アサダ	5.817	14.235	—	8.418
バツコヤナギ	107.004	52.784	—	54.220
イタヤカヘデ	11.827	9.316	—	2.511
アヅキナシ	—	0.571	—	0.571
タラノキ	17.013	7.173	—	9.840
ハルニレ	6.527	6.062	—	0.465
オヒヨウニレ	1.721	0.698	—	1.023
ヒロハノキハダ	15.715	6.999	—	8.716
シナノキ	—	10.141	—	4.100
ミヅナラ	14.241	0.556	—	0.556
ホホノキ	0.404	2.079	—	1.675
キタコブシ	3.987	5.094	—	1.107
ミヅキ	51.575	44.341	—	7.234
ヤマグハ	0.588	0.349	—	0.239
ハクウンボク	—	0.556	—	0.556
ニガキ	8.318	10.839	—	2.521
ツリバナ	0.972	0.587	—	0.385
エゾヤマサクラ	1.082	0.159	—	0.923
合 計	256.787	175.661	—	81.126